

<ニュースリリース>

2019年12月18日

報道各位

福山通運株式会社

### 新路線における「25mダブル連結トラック」の運行開始について

福山通運株式会社（本社：広島県福山市、代表取締役社長：小丸 成洋 以下、福山通運）は、このたび新たに「25mダブル連結トラック」を2台導入し、12月20日以降に栃木支店（栃木県栃木市）と北上支店（岩手県北上市）間において運行を開始する予定です。運行開始にあたり、12月18日に東京主管支店（東京都江東区）にて出発式を行いました。

福山通運では、従来から「輸送モードの多様化」とともにCO<sup>2</sup>排出量の削減による地球環境負荷の低減、ドライバーの労働環境改善や幹線輸送の省人化に取り組んでいます。その一環として、2013年3月から専用貨物列車「福山レールエクスプレス号」の運行を開始し、2017年10月には「25mダブル連結トラック」の運行を日本で初めて名古屋支店（愛知県北名古屋市）と裾野営業所（静岡県裾野市）間で開始しています。

今回、新たに導入する「25mダブル連結トラック」は、1台で通常的大型トラック約2台分の輸送が可能となり幹線輸送の効率化と労働生産性の向上につながるとともにCO<sup>2</sup>排出量の削減にも貢献することになります。

今回の新路線における運行は、2019年8月に国土交通省から発表されたダブル連結トラックの対象路線の拡充を受けて行うもので、「栃木支店—国道50号線—東北自動車道佐野藤岡IC—東北自動車道水沢IC—国道4号線—北上支店」間を走行します。

福山通運は、今後の生産年齢人口の減少や高齢化の進展によるドライバー不足が予想されるなかで、ダブル連結トラックはドライバー不足に対応する有効な輸送手段であると考えています。また、ダブル連結トラックを運転する可能性のある有資格者（牽引免許保有者）は、1,371名（2019年11月末現在）在籍しており、今後さらに台数を増やしていく予定です。

以上

【スペック比較表】

	車両全長	前車両		後車両		合計	
		最大積載量	荷室容積	最大積載量	荷室容積	最大積載量	荷室容積
25m ダブル連結トラック	25.0m	12,600kg	61.0 m <sup>3</sup>	11,100kg	65.1 m <sup>3</sup>	23,700kg	126.1 m <sup>3</sup>
セミトレーラー	15.9m	—	—	—	—	13,200kg	69.4 m <sup>3</sup>
大型トラック(バン)	12.0m	—	—	—	—	12,600kg	62.2 m <sup>3</sup>



写真のデータをご入用の際は、ご連絡下さいますようお願い致します。

〔お問い合わせ先〕

福山通運株式会社 広報 IR 室 小島・土井  
 〒135-0044 東京都江東区越中島三丁目 6 番 15 号  
 TEL 03-3643-0292 FAX 03-3643-3730